

- 1 開催日時 令和6年2月22日（木） 13時15分から15時30分まで
- 2 開催場所 南陽中学校 会議室
- 3 出席委員 増田哲也・加藤裕之・鈴木和枝・赤星順子
水野真宏（学校支援コーディネーター兼務）
- 4 欠席委員 池野滋久・増田亜美
- 5 オブザーバー なし
- 6 学 校 大城定則（校長）・高塚陽子（教頭）・松山隆是（CS 担当教諭）・若原昌史（教務主任）
三高奈緒子（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 なし
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 三高奈緒子

10 議長の選出

増田哲也委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 学校運営協議会の自己評価
- (3) 来年度の学校運営の基本方針
- (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告
- (5) CSコーディネーターからの報告

12 会議記録

司会の高塚から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価

議長の指示により、教務主任から、学校関係者評価報告書について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 2学期の生徒の評価の「理想とする生き方や、やりたい仕事をもっている。」が上がったことが一番良かった。今回いじめ認定が9件中3件解決した。いじめは認めるのも解決するのも非常に難しいが、しっかり対応していただいている。(水野委員)
- ・ キャリアパスポートは小中高と持ち上がるのか？成果は上がっているか？(加藤委員)
- ・ 公立校では基本的に小中高とつなぐ形である。子供たちが自分で頑張ったことを書き、担任がさらにこういう所も頑張ったと書く。行事が子供の成長の要となるし、担任も子供たちを見ていないと書けないのでちゃんと見て一言入れる。子供はそれを見て発見もあるし自分の成長を確認できる。(教頭)
- ・ 高校の方で活用はあるのですか(加藤委員)
- ・ 最初入った時に資料として読んでいただけたとは思いますが。(教務主任)
- ・ 行事は楽しさに目が行きがちだが、行事を通してどういう力を身に付けたかを自分で書ける所がいい。担任がこういう力がついたと評価し、さらにはこんな力がつくといいねという見通しを持って声掛けでき、この「見える化」できることが良い。個人としてどんな力が身についたかと、集団としてどんな力がついたか、と書ける欄があり、俯瞰して見る目、自分を見つめる目、身につく力という視点が、何回かやっていると身についてくると感じている。(教頭)

- ・生徒の家庭学習の%が少ないということだが、実際にどれ位のことをしていますか？（鈴木委員）
- ・一般的に英語や国語の書き取りが週どれくらい、進路によってワークやプリントも出ている。（教頭）
- ・それぞれの教科から出された課題以外に、自主的な学習は？（鈴木委員）
- ・やるやらないではなく、どういう風にやらせるか。現状に合わせたあり方を模索していかなければならない。難しい。（教頭）
- ・好きなことなら自分で図書館やネットで調べ、それが授業に結びつくこともある。自分の財産として学び続ける、そういう家庭での学びがあると思う。（鈴木委員）
- ・このアンケートは全校生徒もれなくとったものでしょうか？（増田哲也委員）
- ・発達級も通常級もタブレットでアンケートをとり、登校できない子もなるべく声掛けし比較的高い率で回答してもらった。（教務主任）
- ・学校に来ていない子が答えることで、その原因が見えるのでは。「だいたいそう思う」は、「あまりそう思わない」に寄せて判断したほうがよい。受ける側は厳しく見る、書く方は甘く書くので、その辺の判断を見誤ってしまうと違う評価になる。「私は、南陽中学校が好きだ。」が80%を超えているのは良い。そう思わないがゼロになることが子供にとっていいことだと思う。（増田哲也委員）
- ・目指す学校像に明るく元気な職員集団とあるが本当にそう思う。相談しやすく生徒一人一人に真摯に向き合ってくれている。1年生のスキー研修でも上手に子供たちの心をくみ取ってくれた。家庭学習はうちの息子は友達とライングループを使って一緒に勉強している。（赤星委員）
- ・うちの高校生の娘もラインで勉強会をやっている。中学校で強制的にグループを作るわけにはいかないので難しさはあるがそういう例は伝えたい。（増田哲也委員）

（2） 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭から学校運営協議会の自己評価について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・ A4サイズにまとめるのは大変でしたね。（加藤委員）

（3） 来年度の学校運営の基本方針

議長の指示により、校長から来年度の学校運営の基本方針について説明があり委員からは以下の発言があった。

- ・ 帰りの会が10分で、今日の反省、明日の予定、係からの連絡をし、中には1分間スピーチ等学級独自の活動をするクラスもあり、担任が語り掛ける時間がない。道徳での話、担任の職業観や夢、クラスの子が考えていること、クラスの良かったことや、もっとここがいいと良いねという話をすると、子ども同士の間関係や、係の呼びかけに対しての反応も変わってくる。子供が成長していくのを担任として感じられる。授業の基盤となるのでやっていきたい。もうひとつは、「好きにさせる」。教科、学級、担任の先生、部活、なんでも「好き」にさせる指導をやりたい。ICTは実践的な使用方法になってきた。授業でタブレットを使い、レポートの作成、提出することもある。3年生は調べ学習ができるよう夏休みも持って帰る。せっかくあるものを、いい使い方を教えたい。

学習面は、どんな勉強をすればいいかわからない生徒もいる。テスト前の計画表の作り方等、授業の中でどこまで話ができているか、まだつかめていない。全国学力学習状況調査アンケートの好きな教科で一番多かったのは数学。「好き」にさせるというのが非常に大切だと感じていて、来年度、全職員達に伝えていきたい。キャリアパスポートですが、自己肯定感が低く自分が好きだと自信を持って言える子が少ない。そのため心のエネルギーが落ちてしまう子が多い。前に書いたページを見て振り返り、自分の成長を感じられる使い方をしたい。あと、いじめ9件。実は校内では認知して様子を見てというのも何件かある。解消は3件で、継続して見守っていく。こういったトラブルはお互いの勘違いで仲たがいでいることもある。自分では言えず予定帳に書く子もいる。こんな風にするんだよと言えればいい。あと3年生は受験で不安になる。

受験前の気持ちを作文に授業で書かせる。「みんなもそうだけど、そういう人が多いよ。先生が前に3年生を担任した時の生徒の作文だよ」と、帰りの会で先輩の作文を読ませ「次先生が3年生を担任した時に読ませてもらうね」と、そのような時間をとれるようにしたい。

令和8年9月から休日の部活動を地域移行へと浜松市として準備していくと出されている。子供が自分で行けない場所だと保護者の送迎がネックとなる。この校区は東陽中、南陽中、小学校の河輪、芳川、芳川北の5校だが、僕は東陽中ではなく東部中が近いと思うので一緒にできればと思う。そこの辺を教えてもらいたい。11月1月2月はシーズンオフの部活が多いので、週2回休みを試した。教員は半々で、子供たちは意外にも結構週2日の休みが良いというアンケート結果だった。やりたい子供たちもいるのでこちら辺がどうか。

この地域は音楽の地域だが、この種目が得意な人が多いというのがあれば教えてほしい。職場体験にバスを使って遠くまで行く子もいて、できればこの地域で歩いて行けるといい。来年度も職場体験をやる方向であり、行く時には履歴書を書き、電話もかけたい。子供たちにマナー等を話してくれる地域の方を紹介してほしい。「ワンリング南陽」とあるが、コロナの関係で連携がとりづらかったことが今年いろいろやれた。ぜひ引き受けてくれる知り合いの方や会社、お店をまた教えていただきたい。(校長)

- ・ 私は裏面に「学校を良くするのも悪くするのも職員」と書いてあるのが本当にありがたい。表面に職員がこうありたいというのが無いのがちょっとどうかと思う。先生の間力が子供に伝染する。教職員に対する教育姿勢、こういう先生でありたいと経営方針に触れられているといい。(増田哲也委員)
- ・ 文字では表しきれないと話があったが、話を聞いてなるほどと思った。生徒は教師の鏡だと先生方一人一人にこの考え方を持っていただきたい。この学校はすごく雰囲気がいい。今日も廊下で先生や子供たちが必ず挨拶してくれる。「授業を好き」にすることは一番大事だ。どんな授業にしたらいいか、さらに経営案にあればいい。(加藤委員)
- ・ 今年度、学習発表会、文化発表会、体育大会を見て生徒の力強さとか考え方とか楽しみをくれる感じだった。自分の考え方だけでなく隣の人の考えも聞き、そういう考え方もあるのかと皆で学ぶ良さがあるのが授業だ。おもしろいなと気づくような場面を必ず授業で一回はとり入れられるとよい。(鈴木委員)
- ・ 学校が、先生方がこういうことをがんばりたいというのを掲げ、保護者や生徒のことを認める感じで書いてあるのはありがたい。私はたまたまPTAでこの場にいるから先生方が明るく元気にやったださり、考え、保護者にも分かりあおうとしているのがわかるが、保護者は知らない人が多いのがすごく残念だ。保護者が校長や教頭の話聞くことは式典で、堅苦しくなってしまう。もうちょっと運営協議会の規模が大きいのがあればいいと思う。忙しい保護者が多いので固い感じだと読み流し、そもそも見ない人もいる。それが残念だ。保護者が受け入れやすくなりやすいといい。校長先生の「好きにさせる」というワードはすごくわかりやすい。発信してほしい(赤星委員)
- ・ 経営方針は今のでいいと思う。出すときにまた校長から場面場面で思いを伝えていただきたい。部活の地域移行は、僕は非常に残念だ。地域に任せるとどうしても親が送迎をしなくてはならなくなる。送迎を期待できない子は運動や部活に入ることができず、あきらめざるを得なくなる。今学校で部活があり、お金がない人でもどんなスポーツでも吹奏楽でも参加できる。地域でクラブチームに入りなさいと言われるとお金の余裕がある家庭じゃないとできない。誰でも参加でき、それが強くても弱くても携われる、部活はいい制度だ。先生の働き方改革は納得だが、民間企業も働き方改革で働く時間がどんどん制約されている。学校の先生も例えば2交代制にし、担任制をやめる、クラスの固定をやめる、塾のように学力に応じ3か月に1回クラス編成する改革をできるといい。現場ですぐには難しいが、できる範囲の中で少しずつ良くする取り組みをしていければと熱く感じたので、方針を出すときはぜひ校長先生が一言皆に向けて発表していただけるといい。(水野委員)
- ・ この地域の得意なこういう人やお店があるよという話はどうですか？職場体験は私もやっていただいたが、職場は別の所になるので、この地域から出ないのは難しい。かなり狭くなると感じた。(増田哲也委員)

- ・ お寺は難しいですか？（赤星委員）
- ・ 今までにないですね。神社は宮司がいる所がなかなか無く地域の方が運営しているようなものなので、いいと思う。（増田哲也委員）
- ・ 職場体験に限らず水防や消防団など地域貢献している人達に、活動内容や自分達はどう守られているのか聞くだけでも。（増田哲也委員）
- ・ ここが沈んだ時には水防団が来てくれるようになっていて、避難訓練の時に話をしてもらおうといい。（教頭）
- ・ 地域防災に守られていることや、自治会の活動も知ってもらいたい。地域とのコミュニティを図るのであればそういうところもいい。水野さんの話に出たように、地域移行は従うしかないのか。（増田哲也委員）
- ・ 国から話が出て市からも言われているので動かざるをえない。この学校もどうすればよいかと。（校長）
- ・ 生徒の芽を摘む作業だ。お金持ちしかプロのサッカー選手になれない、吹奏楽を目指せないとなくなってしまう。それを国や浜松市が進めることが果たして良いのか。学校は立場があると思うが。（増田哲也委員）
- ・ 予算を増やして人を雇い、教員を増やせばいい。部活を学校でやり部活を指導できる人間を雇えばいい。それをしないで地域でやるというのは難しいと思う。定数を改善すればよい。（加藤委員）
- ・ 本当にやりたいことができない子供ができるのは、僕も一番心配です。（校長）
- ・ 在校生の保護者全員が結託し皆で署名、嘆願書を作ればこの流れを止められるのでは（増田哲也委員）
- ・ 期限までに準備が整わなかったら現状維持？（赤星委員）
- ・ 国から出されたものを政令市としてやらなくてはならないと、延ばし延ばしで令和8年9月までを目安に準備していくと曖昧にしてくれている部分がある（校長）
- ・ 子供たちは部活をやりたいので、そもそも地域移行しないでという方も結構多いと思う。（赤星委員）
- ・ 場所を移してというのがこじれのひとつにある。決まってやるようにするのがいい。講師を呼んで学校の施設を使ってすべきだ。これだけの施設を使わないのは非常にもったいない。（加藤委員）
- ・ 子供が自転車で移動できる距離かわからない。自転車は車道を通りましようと言っている割には道が整っていないので、その危険を冒すのもどうかと思う（赤星委員）
- ・ 南陽中は幸い自分の経験した種目をやっている顧問がほとんどなので結構いいが、学校によってはやったことのない種目をやる所もあり大変だ。浜松市では20代と50代という両極端な教員構成が多く、南陽中は30代の教員が多くうまくできているが、これが崩れていくと苦しくなってくる。（校長）
- ・ 地域の人材をとということですが来れる方は少ないですよ。（加藤委員）
- ・ 水泳部と女子バスケットボール部に二人、元教員で退職された方が指導に来ている。（校長）
- ・ 浜松市立南陽中学校経営方針案を承認いただける方は拍手をもってご承認お願いします。（増田哲也委員）
協議の結果、全員意義なく学校経営方針案を拍手で承認。

（4） 夢育やらまいかCS加算分の報告

第1回目に検討していただいた意見書について予算を執行している。風揚げに12、3万、バス代、材料費等に使った。芳川花の会に3月の卒業式にむけてアレンジメントを作るのに今後使う。鼓星は実際8回になったが謝礼で支払いをした。事業の目的に適した外部人材は、主に進路関係、職業講話で私立公立の先生をお呼びし模擬授業や説明会、また未来授業も約25名の講師に働く意義や充実感を語っていただき謝礼として使った。（教頭）

（5） 学校支援コーディネーターからの報告

今年度大きなイベントは実施できなかったが、定期的に学校と連絡を取り合い情報収集に努めた。今年は思うように活動できなかったのもので、その反省を活かし次年度学校を支援できるような活動をしたい。（水野委員）

13 その他報告事項等

次回会議はまだ決まっていないが、今年度と同じ時期で考えたい。決まり次第お知らせします。文書は1か月前には送付します。来年度も3回の予定です。池野さんは今年度をもって退任されます。新しく来年度のPTA会長が加わるので宜しくお願いいたします。（教頭）